

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計		単位:千円						
款	10	項	1	目	3	細事業名	ICT支援事業				所属	学校教育課	
目 名 称	教育振興費						財 源 内 訳				予算書頁		
目 の 予 算 額	61,552					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	151		
予 算 額	17,895						17,895			0	継 続		
	前年度当初	17,103	前年度最終	17,103									
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち				基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成			
<p>1 目的 平成21年度から平成23年度までの3年間、佐賀県ふるさと雇用再生基金を活用して、企業が失業者等で新規雇用した者をICT支援員として教育し、学校現場へ派遣してきた。ICT支援員は、教員のICT活用場面において支援・助言を行い、ICTを活用した授業の推進と既設ICT環境の有効利用を通して、教員のICT指導力の向上を図るために、学校現場においてはなくてはならない者となっており、引き続き配置し、尚一層の学校現場でのICT推進を図る。</p> <p>2 事業内容 白石町内小中学校11校のICT活用を支援するため、ICT支援員を学校現場へ派遣し、校内LANやPC教室、教員用端末等の学校が保有する情報機器等のシステム障害発生に関する技術対応や、学校が有する個人情報等の公務データのセキュリティ管理、運用に関する助言・支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・機器やソフトウェアの設定や操作、また効果的な活用のアドバイス ・個人情報等の校務情報のセキュリティ管理・運用の支援 ・校内LAN運用や情報機器等のシステム障害発生に関する技術対応 ・学校ホームページ運用に関する支援 ・必要なデジタル教材やソフトウェアの紹介、デジタル教材作成に支援 <p>事業期間:平成24年4月1日～平成25年3月31日</p> <p>3 予算額 委託料 総額 17,894,247円 財源内訳:平成24年度佐賀県緊急雇用創出基金事業</p> <p>4 事業の効果 教員のICT活用場面において、支援・助言がなされることにより、教員のICT指導力の向上が図られ、ICTを活用したより良い授業展開がなされ、充実した学習指導時間の増加につながる。さらに、既設ICT環境の有効活用と校務の情報促進が図られる。</p> </p>													

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計			単位:千円											
款	10	項	2・3	目	1	細事業名	学校教育支援員配置事業			所属	学校教育課								
目 名 称	教育振興費						財 源 内 訳			予算書頁									
目 の 予 算 額	342,102					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	154・158								
予 算 額	7,630									7,630	新 規								
	前年度当初	4,484	前年度最終	4,484															
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成										
<p>1 目的 学校現場では、不登校(別室登校を含む)児童生徒への対応、特別な支援が必要な児童生徒への対応、補充学習による学力の向上への対応など、児童生徒の個に応じた支援の充実が求められている。しかしながら限られた人員(教職員)での対応では十分な支援を行うことができていない状況にある。そこで、教育支援員を配置し、状況把握と早期に適切な対応を行うことを目的とする。</p> <p>2 事業内容 ・別室登校及び不登校児童生徒への対応補助 ・個別対応が必要な登校児童生徒への対応 ・ICT利活用補助 ・授業や補充学習の指導補助 ・各種学校行事における指導及び準備補助 ・部活動指導補助</p> <p>3 予算額</p> <table border="0" style="width:100%;"> <tr> <td style="width:10%;">7 賃金</td> <td style="width:10%;">小学校</td> <td style="width:40%;">1,000円×4時間×4日・週×35週=560,000円</td> <td style="width:40%;">560,000×8校=4,480,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中学校</td> <td>1,000円×6時間×5日・週×35週=1,050,000円</td> <td>1,050,000×3校=3,150,000円</td> </tr> </table> <p>4 事業の効果 日々の児童生徒の状態をきめ細かく観察できるようになり、予兆的なサインをいち早くキャッチし、個別の教育相談を行ったり、教師間の連帯強化を図ったりするなど、児童生徒の状況に応じた適切な支援・指導が行えるようになる。</p>												7 賃金	小学校	1,000円×4時間×4日・週×35週=560,000円	560,000×8校=4,480,000円		中学校	1,000円×6時間×5日・週×35週=1,050,000円	1,050,000×3校=3,150,000円
7 賃金	小学校	1,000円×4時間×4日・週×35週=560,000円	560,000×8校=4,480,000円																
	中学校	1,000円×6時間×5日・週×35週=1,050,000円	1,050,000×3校=3,150,000円																

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計			単位:千円				
款	10	項	1	目	3	細事業名	適応指導教室事業			所属	学校教育課	
目 名 称	教育振興費						財 源 内 訳					予算書頁
目 の 予 算 額	61,552					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	150・151・152	
予 算 額	4,219								3,882	337	継 続	
	前年度当初	4,242	前年度最終	4,428								
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち				基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		
<p>1 目的 心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での相談、指導を行い、自立を促しながら集団生活に適応する力を育み、学校への早期復帰や社会性を育成する援助を行うため、交流館2階に適応指導教室コンフォートスペース「あい」で、指導員2名を配置し指導を行う。</p> <p>2 事業内容 場所 白石町交流館 2階 80㎡ 指導員 専任指導者2名</p> <p>3 予算額 賃金 3,879千円 3,878,400円 需用費 166千円 消耗品費 事務消耗品費 120,000円 活動費 36,000円 修繕料 10,000円 電話料 48,000円 役務費 48千円 ケーブルテレビ利用料 16,170円 使用料及び賃借料 73千円 ケーブルインターネット 56,448円 備品購入費 50千円 教材備品費 50,000円 積立金 3千円 基金運用利息 2,674円</p> <p>4 事業の効果 心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での相談、指導を行い、集団生活に適応する力を育むことができる。</p>												

区分		平成24年度 当初		会計		一般会計		単位:千円				
款	10	項	2	目	1	細事業名	学校施設改修費(小学校)			所属	学校教育課	
目 名 称		学校管理費				財 源 内 訳					予算書頁	
目の予算額		250,918				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	155・156	
予 算 額		92,874						45,000		47,874		継 続
		前年度当初	15,020	前年度最終	20,780							
白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち				基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		
1 目的												
町内の小学校施設の適切な維持管理のための改修工事を実施することで、児童の安全を確保するとともに、施設環境の充実に努める。												
2 事業内容												
修繕料 各学校に対応した緊急性の高いものから対応する												
六角小等	プール濾過器等補修										525 千円	
各小学校	ケーブルインターネット接続改修										455 千円	
各小学校	緊急を要する修繕(25万円×8校)										2,000 千円	
委託料												
白石小	外壁改修等工事監理					有明東小	児童用玄関の地盤沈下改修工事設計監理				500 千円	
福富小	外壁改修等工事監理					有明西小	高圧受電設備等改修工事設計監理				500 千円	
須古小	農業集落排水及び屋外トイレ改修工事設計				1,716 千円	六角小	体育館内外装改修工事設計業務				2,000 千円	
その他	緊急的に対応が必要となる工事の設計				200 千円							
工事請負費												
白石小	外壁改修等工事				38,144 千円	有明西小	高圧受電設備等電気設備改修工事				6,500 千円	
福富小	外壁改修等工事				33,471 千円							
有明東小	児童用玄関の地盤沈下改修工事				3,000 千円							
その他	緊急的に対応が必要となる工事				2,000 千円							
3 予算額												
修繕費										2,980 千円		
委託料										6,779 千円		
工事請負費										83,115 千円		
4 事業の効果												
学校は児童が一日の大半を過ごす学習の場であり、安心安全な教育施設として維持することができる。												

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計						単位:千円																												
款	10	項	3	目	1	細事業名	学校施設改修費(中学校)				所属	学校教育課																											
目 名 称	学校管理費																																						
目の 予算額	91,184					財 源 内 訳				予算書頁																													
予 算 額	13,921					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	159・160																												
	前年度当初	16,817	前年度最終	14,321							継 続																												
白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち				基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成																													
<p>1 目的 町内の中学校施設の適切な維持管理のための改修工事を実施することで、生徒の安全を確保するとともに、施設環境の充実に努める。</p> <p>2 事業内容</p> <p>修繕料 各学校に対応した緊急性の高いものから対応する</p> <table border="0"> <tr> <td>各中学校</td> <td>ケーブルインターネット接続改修</td> <td>621 千円</td> </tr> <tr> <td>各中学校</td> <td>緊急を要する修繕(50万円×3校)</td> <td>1,500 千円</td> </tr> </table> <p>委託料</p> <table border="0"> <tr> <td>福富中</td> <td>防球ネット設置工事設計監理</td> <td>1,000 千円</td> </tr> <tr> <td>白石中</td> <td>多目的ホール床改修設計</td> <td>600 千円</td> </tr> <tr> <td>各中学校</td> <td>緊急的に対応が必要となる工事の設計</td> <td>200 千円</td> </tr> </table> <p>工事請負費</p> <table border="0"> <tr> <td>福富中</td> <td>防球ネット設置工事</td> <td>9,000 千円</td> </tr> <tr> <td>各中学校</td> <td>緊急的に対応が必要となる工事</td> <td>1,000 千円</td> </tr> </table> <p>3 予算額</p> <table border="0"> <tr> <td>修繕費</td> <td>2,121 千円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>1,800 千円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>10,000 千円</td> </tr> </table> <p>4 事業の効果 学校は児童が一日の大半を過ごす学習の場であり、安心安全な教育施設として維持することができる。</p>													各中学校	ケーブルインターネット接続改修	621 千円	各中学校	緊急を要する修繕(50万円×3校)	1,500 千円	福富中	防球ネット設置工事設計監理	1,000 千円	白石中	多目的ホール床改修設計	600 千円	各中学校	緊急的に対応が必要となる工事の設計	200 千円	福富中	防球ネット設置工事	9,000 千円	各中学校	緊急的に対応が必要となる工事	1,000 千円	修繕費	2,121 千円	委託料	1,800 千円	工事請負費	10,000 千円
各中学校	ケーブルインターネット接続改修	621 千円																																					
各中学校	緊急を要する修繕(50万円×3校)	1,500 千円																																					
福富中	防球ネット設置工事設計監理	1,000 千円																																					
白石中	多目的ホール床改修設計	600 千円																																					
各中学校	緊急的に対応が必要となる工事の設計	200 千円																																					
福富中	防球ネット設置工事	9,000 千円																																					
各中学校	緊急的に対応が必要となる工事	1,000 千円																																					
修繕費	2,121 千円																																						
委託料	1,800 千円																																						
工事請負費	10,000 千円																																						

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	05	目	04	細事業名	小学生リーダー育成事業		所属	生涯学習課	
目 名 称	青少年育成費										
目の予算額	8,251					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	6,693					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	167
	前年度当初	7,987	前年度最終	6,873				2,344	4,349	継 続	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成
-------------------------------	---------------	-------------------------	---------------	---------------

1 目的

大自然の中で、たくましさと自主性を学び、友情を育み、自然体験をとおして子ども達の資質を高め白石町の青少年リーダー育成をめざす。

2 事業内容

町内小学校6年生児童を対象に実施し、引率・指導は町職員等で行う。
 保護者説明会、事前研修(2回~3回)、事後研修・報告会を行う。
 研修終了後、参加した子ども達は町及び地域で行う行事に積極的に参加してもらう。
 中学3年生時にボランティア活動を行い、参加生徒の育成と地域貢献のための指導を行う。

- 沖縄~海と風の研修(国立沖縄青少年交流の家)
 沖縄県渡嘉敷島に、夏季3泊4日(7月夏休み期間)
 募集小学生定員36人。引率10名。
- 北海道~北の大地の研修(北海道国立ひだか青少年自然の家)
 北海道ひだか青少年自然の家に、冬季3泊4日(12月冬休み期間)
 募集小学生定員36人。引率10名。
- ボランティア活動
 H21年度参加した、現在中学3年生が対象。
 引率スタッフが指導。

3 予算額 6,693 千円

13 委託料 6,693 千円 しろいし元気ッズ実行委員会委託料

事業内訳			
内 容	沖 縄	北 海 道	ボランティア
旅費(航空運賃、バス代他)	2,620,120	3,366,380	
活動消耗品	70,000	59,000	
保険料、謝金他	89,760	396,760	90,000
合 計	2,779,880	3,822,140	90,000

参加負担金		
内 容	金 額	
沖 縄	27,000*36人	972,000
北 海 道	37,000*36人	1,332,000
ボランティア	500*80人	40,000
合 計	2,344,000	

4 事業の効果

沖縄や北海道への集団での自然体験を行うことにより、自然の美しさ・厳しさを体感し、自立を促し、社会の一員としての責任感を知り、白石町の子どもの様々な能力を養う。

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計		単位:千円																																																																																																				
款	10	項	6	目	1	細事業名	町スポーツ大会費			所属	生涯学習課																																																																																															
目 名 称	保健体育総務費																																																																																																									
目の予算額	44,248					財 源 内 訳					予算書頁																																																																																															
予 算 額	1,363					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	171																																																																																															
	前年度当初	286	前年度最終	286					1,363	継 続																																																																																																
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 2 節	生涯学び楽しめる環境の充実																																																																																																		
1 目的	<p>平成17年1月の町合併当初から、町民の方からは「合併したのだから町全体のスポーツ大会が開催できないか。できれば開催してほしい」との要望があったものの、生涯学習課では町全体の大会を開催することで競技志向にはしり、住民スポーツの推進の面では逆の結果になるのではという懸念があった。合併から7年が経過し、町全体の大会も必要ではないかという気運の高まりと、平成23年3月の町総合運動場の完成により、全町的な規模の大会開催ができる環境が整ってきた。住民の方の親睦と融和を目的に、平成24年度に全町的なソフトボール大会を開催し、次年度以降もこの大会を基礎として、その他の種目競技の開催に努める。また、これまでどおりファミリースポーツデー、その他の大会も開催し住民の方がスポーツに取り組める場の提供に努める。</p> <p>※町全体の大会を開催するに当たり、出場選手だけでなく、選手以外の方が興味を持ち応援できるような種目の選定及び開催方法をとった。①選手だけでなく選手以外の方が興味を持ち応援できる方法として自治公民館対抗とした。②既に各地域で開催している大会に追加し、さらに自治公民館対抗の大会を開催することは、新たな負担をかけることになるため、3地域で行われている既存の大会を活用することにし、今回はソフトボールを開催種目として決定した。</p>																																																																																																									
2 事業内容	<p>①(ソフトボール)参加自治公民館数:Aクラス~Jクラス 10クラス×8チーム=80チーム 方法:各クラス7~8チームによるトーナメント 会場:学校施設及び社会施設(総合運動場、マイランド公園G、新明G、稲佐G、ふれあい運動公園、白石中G、福富中G、有明中G、白石小G 計9カ所)</p> <p>②ファミリースポーツデーを開催し屋外スポーツの体験(むつごろうカントリークラブを利用予定)</p> <p>③その他大会</p>																																																																																																									
3 予算額	<table border="0"> <tr> <td>報償費</td> <td>533,000円</td> <td>賞品代</td> <td>(ソフトボール関係) 20,000円(1クラス)×10クラス=200,000円 (ファミリースポーツデー関係) 45,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>謝金</td> <td>役員謝金 4人(1コート)×20コート×3,500円=280,000円 審判講習講師謝金 2人×4,000円=8,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>28,000円</td> <td>費用弁償</td> <td>スポーツ推進委員費用弁償 1,000×28名</td> <td>28,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>602,000円</td> <td>消耗品費</td> <td>(ソフトボール関係) ヘルメット5個(1コート)×20コート×4,820円(定価の85%)=482,000円 " バッターボックスライン引き用枠 40,000円 " その他の消耗品(ボール他) 40,000円 (ファミリースポーツデー) 30,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>医薬材料費</td> <td>大会医薬品 10,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td>30,000円</td> <td></td> <td>石灰他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>170,000円</td> <td></td> <td>むつごろうカントリークラブ使用料</td> <td>169,880円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>《使用料積算方法》</td> <td colspan="10">休日(の)計画入場者数:60名/日 60名×0.66(2/3)×4,290円</td> </tr> </table>											報償費	533,000円	賞品代	(ソフトボール関係) 20,000円(1クラス)×10クラス=200,000円 (ファミリースポーツデー関係) 45,000円											謝金	役員謝金 4人(1コート)×20コート×3,500円=280,000円 審判講習講師謝金 2人×4,000円=8,000円									旅費	28,000円	費用弁償	スポーツ推進委員費用弁償 1,000×28名	28,000円								需用費	602,000円	消耗品費	(ソフトボール関係) ヘルメット5個(1コート)×20コート×4,820円(定価の85%)=482,000円 " バッターボックスライン引き用枠 40,000円 " その他の消耗品(ボール他) 40,000円 (ファミリースポーツデー) 30,000円											医薬材料費	大会医薬品 10,000円									原材料費	30,000円		石灰他									使用料及び賃借料	170,000円		むつごろうカントリークラブ使用料	169,880円								《使用料積算方法》	休日(の)計画入場者数:60名/日 60名×0.66(2/3)×4,290円									
報償費	533,000円	賞品代	(ソフトボール関係) 20,000円(1クラス)×10クラス=200,000円 (ファミリースポーツデー関係) 45,000円																																																																																																							
		謝金	役員謝金 4人(1コート)×20コート×3,500円=280,000円 審判講習講師謝金 2人×4,000円=8,000円																																																																																																							
旅費	28,000円	費用弁償	スポーツ推進委員費用弁償 1,000×28名	28,000円																																																																																																						
需用費	602,000円	消耗品費	(ソフトボール関係) ヘルメット5個(1コート)×20コート×4,820円(定価の85%)=482,000円 " バッターボックスライン引き用枠 40,000円 " その他の消耗品(ボール他) 40,000円 (ファミリースポーツデー) 30,000円																																																																																																							
		医薬材料費	大会医薬品 10,000円																																																																																																							
原材料費	30,000円		石灰他																																																																																																							
使用料及び賃借料	170,000円		むつごろうカントリークラブ使用料	169,880円																																																																																																						
《使用料積算方法》	休日(の)計画入場者数:60名/日 60名×0.66(2/3)×4,290円																																																																																																									
4 事業の効果	全町的なスポーツ大会を実施することにより、これまでにはなかった各地域を超えた広い年齢層の親睦と融和が図られ、さらには健康増進を図ることができる。																																																																																																									

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	10	項	6	目	1	細事業名	ロードレース大会費 (歌垣の郷ロードレース大会)			所属	生涯学習課
目 名 称	保健体育総務費						財 源 内 訳				
目 の 予 算 額	44,248										予算書頁
予 算 額	4,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	171
	前年度当初	4,171			前年度最終	4,171					4,000
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 2 節	生涯学び楽しめる環境の充実			

1 目的

中・高校生の駅伝大会における全国的な活躍により、町民の駅伝に対する期待と関心が高まっているなか「駅伝の町しろいし」「歌垣の郷しろいし」を全国的に広めるため、歌垣の郷ロードレース大会を開催し、町民の健康増進と町の活性化を図る。

2 事業内容

大会開催日 : 平成25年3月17日(毎年3月第3日曜日開催)

企画・運営 : 実行委員会形式により、11月より3月まで4回の実行委員会を開催

競技種目 : 日本陸連公認コース10kmの部・5kmの部・3kmの部・2kmの部・ファミリージョギングの部 合計5種目・13競技を開催

3 予算額

委託料	4,000 千円	その他委託料	4,000 千円	歌垣の郷ロードレース大会委託料	4,000,000 円
				(大会運営費等)	

4 事業の効果

競技申込者: 第1回・769名 第2回・985名 第3回・1,115名 第4回・1,503名 第5回・2,104名 第6回・2,014名 第7回・2,185名 第8回・2,343名 第9回・2,324名
第10回・2,946名 第11回・2,522名 第12回・2,718名,第13回・2,776名,第14回・2,788名(平成20年度),第15回・2,701名(平成21年度)
第16回・2,814名(平成22年度)

ロードレース大会を実施することにより、町の活性化や町のPRができ、町民のスポーツに対する意識も高めることができる。

平成24年度過疎債充当事業一覧

(単位:千円)

過疎債充当事業			事業費	財 源 内 訳						一般財源	備 考	所属課
会計区分	予算科目	事業名		国庫	県費	過疎債	下水道事業債	基金	その他			
			2,909,984	1,268,300	105,250	905,100	535,200	0	7,864	88,270		
一般会計	6.農業費 3.水産業費	新有明漁港整備事業	427,680	210,500	105,250	100,000				11,930		農村整備課
	7.土木費 2.道路橋梁費	道路新設改良費	152,592			137,000				15,592		建設課
	7.土木費 2.道路橋梁費	社会資本整備総合交付金事業	382,048	226,800		101,000				54,248		建設課
	2.総務費 1.総務管理費	コミュニティタクシー運行事業	15,256			12,000				3,256	ソフト事業	企画課
	3.福祉費 1.社会福祉費	緊急通報体制等整備事業	2,127			2,000				127	ソフト事業	長寿社会課
	4.衛生費 1.保健衛生費	小学生・中学生医療事業費	16,000			13,000				3,000	ソフト事業	保健福祉課
	4.衛生費 1.保健衛生費	地域医療体制事業	6,508			5,000			1,391	117	ソフト事業	保健福祉課
		小計		1,002,211	437,300	105,250		370,000		0	1,391	88,270
特別会計	3.施設整備費 1.農業集落排水事業費	農業集落排水事業(須古地区)	278,628	90,000		93,700	93,700		1,228	0		下水道課
	1.公共下水道費 1.公共下水道施設整備費	特定環境保全公共下水道施設整備費	1,629,145	741,000		441,400	441,500		5,245	0		
		小計		1,907,773	831,000	0	535,100	535,200	0	6,473	0	

平成24年度当初予算しろいしみのり枠について

1. しろいしみのり枠の設定の主旨等 当初予算の編成方針の中で、平成24年度のみ措置として、下記の目的に対する経費で、一般経費・特別経費、新規事業・継続事業を問わず事業費の増額も含めて、しろいしみのり枠(特別枠)を設定し、各課において知恵を絞りだした要求事業の中から、予算編成過程において選定した。

- ①白石町のイメージや知名度を高める
- ②公共施設の統廃合など市町村合併効果を更に高める
- ③将来的な経費を逡減させる
- ④その他既存の事業にない、戦略的なもの

(単位:千円)

2. 対象事業

予算科目	事業名	新規・継続の区分	事業費	財源内訳			所属課
				国県支出金	その他	一般財源	
2.総務費・1.総務管理費	①公用車管理費(電気自動車購入)	新規	5,160	780		4,380	財政課
2.総務費・2.徴税費	②ご当地ナンバー作成事業	新規	3,880			3,880	税務課
4.衛生費・1.保健衛生費	③しろいし食育まつり事業	新規	2,700			2,700	保健福祉課
7.商工費・1.商工費	④プレミアム付き商品券発行事業	継続	4,000			4,000	産業課
	合計		15,740	780		14,960	

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計						単位:千円
款	02	項	01	目	05	細事業名	公用車管理費(電気自動車購入)			所属	財政課
目 名 称	財産管理費										
目の 予 算 額	146,259					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	5,160					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	55
	前年度当初	0	前年度最終	0	0	780	0	0	0	4,380	新規
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 6 章	自然環境と共生するまち【自然環境の保全】			基本計画 第 2 節	環境にやさしいまちづくり			
1 目的											
<p>白石町地域新エネルギービジョンにおいて、クリーンエネルギー自動車の導入構想を策定している。その中でも、地球環境にやさしい電気自動車の購入を、国の事業であるクリーンエネルギー自動車等導入促進対策補助金を受け購入する。</p> <p>電気自動車の最大の特徴は、地球温暖化の原因となる、二酸化炭素排出量がゼロであるということである。このことを、広く町民に知ってもらうことと、電気自動車の良さを知ってもらうため、町の行事に出向き住民に普及啓発を行うことを目的としている。</p>											
2 事業内容											
<p>・現在49台の公用車とリース車7台の中で、一番古い乗用車を1台廃車をし、クリーンエネルギーの電気自動車(EV)を購入する。</p>											
3 予算額											
<p>収入 クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金(電気自動車等導入費補助事業) 補助金交付上限額 (電気自動車) 780 千円</p>											
<p>支出 15 工事請負費 公用車充電器設置工事 860 千円 18 備品購入費 車両 電気自動車 4,300 千円</p>											
4 事業の効果											
<p>・電気自動車の普及啓発をはかり、二酸化炭素の排出量の削減を図る。</p>											

単位：千円

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計							
款	02	項	02	目	02	細事業名	ご当地ナンバー作成事業				所属	税務課
目 名 称	町民税費											
目 の 予 算 額	35,851					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	3,880					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	66	
	前年度当初	0			前年度最終	0				3,880	新規	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 5 章	参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】	基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	-------------

1 目的

本町の特産物PRキャラクター「しろいしみのりちゃん」を取り入れた課税標識(ナンバープレート)を交付することにより、本町産業のPRを行う。
 走る広告塔として知名度アップによる地域振興、観光振興、運転マナーの向上などの効果が期待できる。
 また、現在交付されている課税標識をみのりちゃん入りの課税標識と交換し、旧町名の課税標識(ナンバープレート)をなくすことで、町民の旧町意識を取り払う。

2 事業内容

- 本町の課税標識のデザインに「しろいしみのりちゃん」を取り入れ、現在交付しているノーマルタイプからオリジナルタイプに切り替える。
- オリジナルタイプの交付は平成25年1月からとする。
- 平成25年1月からはノーマルタイプは交付しない。ノーマルタイプからオリジナルタイプへの変更は、ノーマルタイプの返納があれば無償で行う。
- 作成する課税標識は白石町が標識を交付している①原付バイク1種②原付バイク2種甲③原付バイク2種乙④農耕用小型特殊⑤小型特殊自動車⑥原付ミニカーの分を作成する。単価及び作成枚数は予算額で説明のとおり。

※スケジュール……平成24年7月指名委員会及び入札 — 平成24年8月契約及び発注 — 平成24年11月納品 — 平成25年1月交付開始

3 予算額

	単価	×	枚数	=	金額
①原付バイク1種	600円	×	1,900枚	=	1,140,000円
②原付バイク2種甲	600円	×	200枚	=	120,000円
③原付バイク2種乙	600円	×	150枚	=	90,000円
④農耕用小型特殊	600円	×	3,800枚	=	2,280,000円
⑤小型特殊自動車	600円	×	150枚	=	90,000円
⑥原付ミニカー	600円	×	100枚	=	60,000円
金型製作費					100,000円
合計			6,300枚		3,880,000円

4 事業の効果

- ①白石町の走る広告塔で白石町のPR
- ②旧町意識を取り払う
- ③課税客体の実態にあった登録の見直しができ、課税漏れの防止策となる。



区分	平成24年度 当初		会計	一般会計						単位:千円													
款	4	項	1	目	1	細事業名	しろいし食育まつり事業費			所属	保健福祉課												
目 名 称	保健衛生総務費																						
目の 予算額	192,547					財 源 内 訳					予算書頁												
予 算 額	2,700					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	95・96												
	前年度当初 0 前年度最終 0									2,700	新規												
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 3 節	保健・医療体制の充実															
<p>1 目的 白石町の知名度を高めるため、特産品を使用したご当地メニューを作り町内外に広める。 また、住民が食と農、健康について考える機会をつくる。</p> <p>2 事業内容 ・町民が健全な心身を培い、豊かな人間性を育む食育を推進するための講演会 ・地域の食材を生かしたご当地メニューコンテスト表彰 ・コンテストで選ばれたご当地メニューの販売(レストラン) ・特産品の販売 ・体験コーナー(食育ゲーム、骨密度測定等) ・展示コーナー、試食コーナー</p> <p>3 予算額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>説 明</th> <th>予算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>講演会講師謝金・審査員報償費・協力者謝礼 応募参加賞・入賞賞金</td> <td>2,232</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>材料代 広報代(チラシ、ポスター) 消耗品</td> <td>468</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>2,700</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 事業の効果 白石町の知名度を高め、住民の食や健康に対する意識の向上を図る。</p>												節	説 明	予算額(千円)	報償費	講演会講師謝金・審査員報償費・協力者謝礼 応募参加賞・入賞賞金	2,232	需用費	材料代 広報代(チラシ、ポスター) 消耗品	468	合 計		2,700
節	説 明	予算額(千円)																					
報償費	講演会講師謝金・審査員報償費・協力者謝礼 応募参加賞・入賞賞金	2,232																					
需用費	材料代 広報代(チラシ、ポスター) 消耗品	468																					
合 計		2,700																					

単位：千円

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計					
款	7	項	1	目	1	細事業名	プレミアム付き(元気しろいし商品券)発行事業	所属	産業課	
目 名 称	商工振興費									
目の 予算額	108,518					財 源 内 訳			予算書頁	
予 算 額	4,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源
	前年度当初	4,000	前年度最終	5,000					4,000	継 続

白石町総合計画
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)

基本構想
第 3 章

活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】

基本計画
第 2 節

商工業の振興

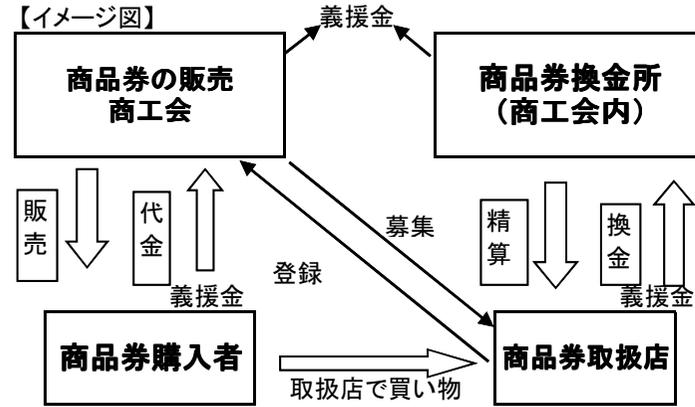
1 目的

自律的な景気回復へ移行するための手段として、冷え込む個人消費を拡大させるため、また、地域経済と商店街の活性化、東日本大震災の復興支援を図るため、義援金付きプレミアム付き商品券を発行する白石町商工会に対して、予算の範囲内において補助金を交付し、個人消費の喚起及び地域経済の活性化と被災地域の支援を図り、地域振興に資する。

2 事業内容

白石町商工会が発行する商品券を購入する者に対し、白石町商工会が当該購入金額の10パーセントに相当する額をプレミアム分(割増券)として当該商品券を発行する部分に補助する。

- ・事業主体 白石町商工会
- ・発行総額 44,000,000円【うちプレミアム分(10パーセント)4,000,000円】
- ・販売額 現金10,000円で11,000円分の商品券
- ・商品券取扱事業者 白石町内の全事業所を対象に募集する。
- ・商品券の利用地域 白石町内全域
- ・商品券の使用期間 発行日から6ヶ月以内
- ・商品券換金方法 商工会で換金
- ・義援金 購入者より10,000円につき100円、参加事業者より換金額の1%を寄付



3 予算額

補助金
元気しろいし商品券発行事業補助金 4,000千円

4 事業の効果

白石町内の購買力を促進し、消費拡大と地域商工業の活性化、併せて白石町地域経済の振興が図られ、東日本大震災復興支援の一助となる。

※義援金については、予算ベースで購入者より400千円、参加事業者より440千円
合計840千円の義援金となる。

プレミアム付き商品券発行推移

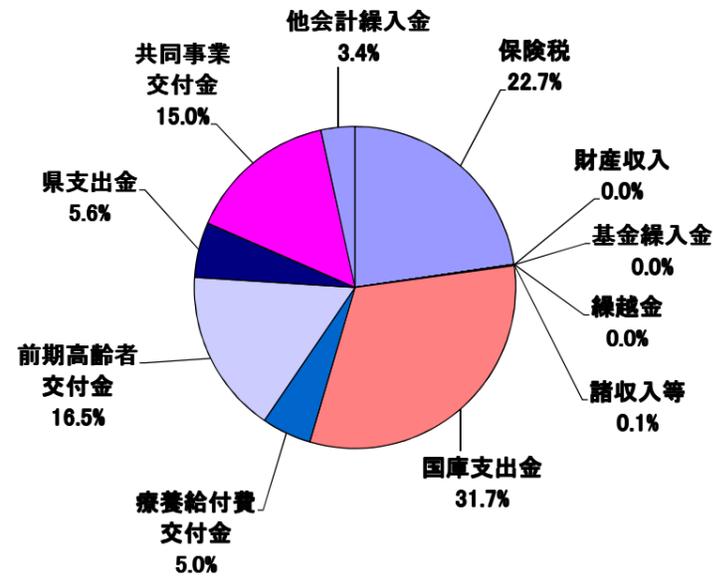
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
発行額	44,000千円	44,000千円	110,000千円
町補助金額	6,230千円	5,075千円	5,000千円

※補助金額は予算ベース

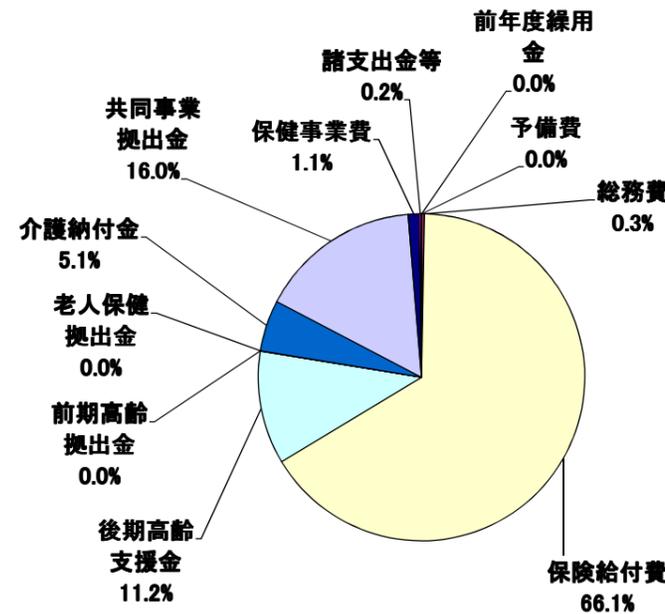
平成24年度 白石町国民健康保険特別会計歳入歳出予算の概要

白石町住民課 保険係

歳入



歳出



平成24年度の国民健康保険特別会計の概要を説明します。

近年の経済状況、医療費動向等の社会情勢を勘案しながら、歳入歳出の総額は35億5千8百万円で編成しています。

高齢者医療制度の見直し、市町村国保の都道府県単位化が検討されており、平成24年度においても保険税率等は据え置き、保険税の収納率の向上及び脳ドック・人間ドック等の保健事業の拡充を図り健全な財政運営を図りたいと考えております。

歳入では、保険税が808,164千円、歳入全体の22.7%を占める貴重な自主財源となっています。保険税の算定に当たっては、農業所得の減、農業以外の所得においては前年同様と見込み、予算計上しています。

他の主な財源としては、

①国庫支出金は1,128,753千円で歳入の31.7%を占め、その内訳は、保険給付費の約34%を賄う療養給付費等負担金は834,613千円、高額医療共同事業負担金は22,160千円、平成20年度から実施された特定健診・特定保健指導に伴う負担金は3,197千円と、保険者の財政の運営状況により交付される財政調整交付金は268,783千円です。

②保険給付費等のうち退職者医療制度の対象者の給付に充てる療養給付費交付金は176,751千円、前期高齢者（65歳～74歳）の加入率により交付されます前期高齢者交付金は586,827千円です。

③共同事業交付金は534,755千円については、事業が平成22年度から更に4年間延長され、内訳は高額医療費共同事業交付金が58,943千円、保険財政共同安定化事業交付金が475,812千円です。

④他会計繰入金の121,558千円については、自営業者の他、年金受給者といった低所得者の保険税軽減相当額を公費（国、県、町）で補填する保険基盤安定繰入金が77,658千円、低所得者、病床数、高齢者が多いといった事情で交付されます財政安定化支援事業繰入金が15,000千円、出産育児一時金の16,800千円です。

以上のように、各種補助金・交付金は、法に定める方法で算定していますが、保険給付費支払準備積立基金については、平成20年度から積立ができず、平成21年度からは底をついた状況となっています。

歳出では、保険給付費は、2,350,951千円で歳出の66.1%を占めています。保険給付費の推計については、昨年度までの実績に基づき、一人当たりの医療費を算出し、推定の被保険者数を乗じて見込んでいます。

他の主な支出としては、

①後期高齢者支援金は、佐賀県の後期高齢者医療制度に加入する被保険者の医療費全体の約4割を賄うこととされ、白石町国保では歳出の11.2%を占め、398,692千円です。

②介護納付金は、平成12年度から始まった制度ですが、本年度の予算額は、180,363千円で計上しています。

③共同事業拠出金の内訳は、県内市町国保間の保険料の平準化や財政の安定化を図ることを目的とした保険財政安定化事業拠出金は482,062千円で、高額医療費共同事業拠出金は88,294千円で引き続き実施されます。

④保健事業費は総額38,024千円を計上し、20年度から開始された特定健診・特定保健指導を積極的に行うとともに、年齢の制約で受診対象外である30歳代の被保険者についても、昨年度に引き続き実施することとしています。

また、新年度からは、脳ドックに人間ドックを加えて実施し、受診者数300名を確保しながら、特定健診を同時実施することにより、受診率の向上、そして、被保険者の更なる健康増進を図る計画であります。

歳入(H24は当初予算、H21、22は決算、H23は決算見込)

単位:千円

区分	平成24年度の自主財源 (22.8%)										平成24年度の依存財源 (77.2%)										合計			
	保険税		財産収入		基金繰入金		繰越金		諸収入等		国庫支出金		療養給付費交付金		前期高齢者交付金		県支出金		共同事業交付金(運合金交付金)				他会計繰入金	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
24	808,164	-7.1%	2		1		2		3,821	-33.4%	1,128,753	17.7%	176,751	9.7%	586,827	-5.0%	197,366	19.3%	534,755	6.9%	121,558	-3.4%	3,558,000	4.5%
23	869,746	3.6%	0		0		0		5,739	60.2%	958,813	14.6%	161,166	9.7%	617,714	-0.9%	165,383	10.0%	500,223	14.7%	125,870	-23.8%	3,404,654	6.3%
22	839,385	3.0%	0		0		0		3,582	42.3%	836,309	-14.6%	146,955	2.3%	623,533	15.6%	150,404	-14.0%	436,227	-3.0%	165,096	37.6%	3,201,491	-2.0%
21	814,802		210		0		43,248		2,518		979,556		143,587		539,519		174,871		449,709		119,952		3,267,972	

歳出(H24は当初予算、H21、22は決算、H23は決算見込)

区分	総務費		保険給付費		後期高齢者支援金		前期高齢者拠出金		老人保健拠出金		介護納付金		共同事業拠出金		保健事業費		諸支出金		予備費		前年度繰上充入金		合計	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
24	10,100	13.0%	2,350,951	2.9%	398,692	14.9%	1,046	1.5%	120	421.7%	180,363	5.3%	570,357	10.0%	38,024	112.6%	8,346	-78.9%	1		0		3,558,000	4.5%
23	8,938	-27.1%	2,285,699	4.3%	346,989	13.0%	1,031	88.8%	23	-99.6%	171,227	10.5%	518,562	8.0%	17,883	10.3%	39,646	657.9%	0		14,656	-66.2%	3,404,654	5.9%
22	12,255	4.0%	2,191,081	-2.3%	307,025	-16.4%	546	-47.7%	5,271	-49.0%	154,977	8.0%	480,210	-6.0%	16,206	-17.3%	5,231	49.1%	0		43,345		3,216,147	-2.9%
21	11,786		2,243,419		367,160		1,044		10,338		143,494		510,981		19,588		3,508		0		0		3,311,318	

両面印刷用白紙ページ

区分	平成24年度 当初			会計	国民健康保険特別会計			単位:千円			
款	1	項	1	目	1・2	細事業名	国民健康保険税			所属	住民課
目 名 称	一般被保険者・退職被保険者国民健康保険税										
目の予算額	808,164					財 源 内 訳			予算書頁		
予 算 額	808,164					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	9
	前年度当初	838,346	前年度最終	855,824					808,164	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 5 節	社会保障の充実		

1 目的

国民健康保険税は、国民健康保険を運営する市町村が、運営するために必要な費用に充てるため、被保険者の属する世帯の世帯主に対して賦課する税金であり、分類上は地方税、直接税、目的税に該当する。現在、被保険者相互扶助のための医療給付費分、後期高齢者の負担を軽減するための後期高齢者支援金分、介護保険制度運営のための介護納付金分の3区分で賦課されている。

2 事業内容

平成23・24年度比較

区 分		A 平成23年度	B 平成24年度	B-A	B/A	
一般被保険者	現年	医療給付費分	533,886	527,584	△6,302	98.82%
		後期支援金分	139,000	124,000	△15,000	89.21%
		介護納付金分	80,000	70,000	△10,000	87.50%
	過年	医療給付費分	24,000	24,000	-	100.00%
		後期支援金分	2,700	3,700	1,000	137.04%
		介護納付金分	3,700	3,900	200	105.41%
計		783,286	753,184	△30,102	88.81%	
退職被保険者	現年	医療給付費分	36,000	35,000	△1,000	97.22%
		後期支援金分	9,000	9,000	-	100.00%
		介護納付金分	9,000	10,000	1,000	111.11%
	過年	医療給付費分	800	700	△100	87.50%
		後期支援金分	90	100	10	111.11%
		介護納付金分	170	180	10	105.88%
計		55,060	54,980	△80	99.85%	
合 計		838,346	808,164	△30,182	96.40%	

平成24年度国民健康保険税の状況

平成24年度国保税の算定に当たっては、農業所得の下落を20%、農業以外の所得においては前年同様と見込み、予算比3.60%減と算定した。

国保世帯数及び被保険者数の状況

	世帯数	被保険者数
A H23年10月	3,678世帯	7,841人
B H22年10月	3,695世帯	7,921人
A-B	△17世帯	△80人

保険税率等

	所得割	均等割	平等割	課税限度額	
				変更前	変更後
医療給付費分	8.3%	19,700円	31,200円	51万円	
後期高齢者支援金分	2.2%	5,000円	8,000円	14万円	
介護納付金分	2.2%	10,300円	6,300円	12万円	

区分	平成24年度 当初			会計	国民健康保険特別会計		単位:千円				
款	3	項	1	目	1	細事業名	後期高齢者支援金			所属	住民課
目 名 称	後期高齢者支援金										
目の予算額	398,653					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	398,653					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	24
	前年度当初	358,973	前年度最終	346,954		135,541			124,607	138,505	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 5 節	社会保障の充実
-------------------------------	--	---------------	---------------------------	---------------	---------

1 目的

後期高齢者の医療費負担を軽減するため、若年層がその財源の一部を負担することにより、高齢者医療制度の円滑な運営を図る。

2 事業内容

75歳以上の高齢者を対象に後期高齢者医療制度が平成20年度に導入され、その医療費の負担構成は、国、県、市町村が50%、健康保険組合、協会けんぽ、公務員共済、国民健康保険等の保険者が40%、75歳以上の高齢者自身が10%となっている。このうち保険者が負担する拠出金を後期高齢者支援金といい、平成24年度当初において対前年度比11.03%増を見込み計上した。

3 予算額

歳出

区 分	拠出金額	説 明		
後期高齢者支援金	398,630	一人当たり支援金 49,311円	× 加入者数 8,084人	= 支援金額 398,630,124円
病床転換支援金	23	一人当たり支援金 2.82円	× 加入者数 8,084人	= 支援金額 22,797円
合 計	398,653			

歳入

財 源	財源額	説 明
国庫支出金	129,005	療養給付費負担金の一部、病床転換支援金分を充当
その他財源(支払基金)	112,007	前期高齢者交付金の一部を充当
一般財源	157,641	
合 計	398,653	

区分	平成24年度 当初			会計	国民健康保険特別会計		単位:千円				
款	8	項	1	目	2	細事業名	人間ドック等事業費			所属	住民課
目 名 称	疾病予防費										
目の予算額	7,860					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	7,860					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	27
	前年度当初	2,225	前年度最終	2,225			1,481			6,379	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 5 節	社会保障の充実		

1 目的

人間ドック、脳ドック健診を実施することにより、普段気がつきにくい疾患や臓器の異常や健康状態などをチェックすることができ、専門的な診断により、被保険者自らの健康に関する理解が深まる。また、生活習慣病等の疾病を早期発見、早期治療することにより、病状の重症化を防ぎ、医療費の節減を図る。

2 事業内容

検 査 内 容	実 施 期 間	対象者及び対象人数	備 考
脳ドック 頭部MR検査、頸動脈超音波検査、頸椎X線撮影 人間ドック 身体計測、視力、聴力、血圧、貧血検査、血液検査、CHV抗体検査、尿、がん(肺、胃、大腸)検査、心電図、腹部超音波(肝臓、胆嚢、腎臓、膵臓、脾臓等)検査、眼底検査	5月～12月	対象者 30歳～74歳の国保被保険者 対象人数 脳ドック 200名 人間ドック 200名	個人負担金(健診費用の3割) 脳ドック分 6,300円 人間ドック分 10,500円

3 予算額

歳出

区分	事業費	説 明
需用費	20	消耗品費 用紙、事務用品等 20,000円
委託料	7,840	脳ドック委託料 21,000円－ 人間ドック委託料 35,000円－ 21,000円－ 6,300円＝14,700円 35,000円－ 10,500円＝24,500円 ・脳ドック 14,700円×200名＝ 2,940,000円 ・人間ドック 24,500円×200名＝ 4,900,000円 委託料合計 7,840,000円
計	7,860	

歳入

区分	事業費	説 明
県支出金	1,481	財政調整交付金(2種交付金) 1,481,000円
一般財源	6,379	
計	7,860	

区分	平成24年度 当初		会計	国民健康保険特別会計		単位:千円						
款	8	項	2	目	1	細事業名	特定健康診査				所属	住民課
目 名 称	特定健康診査等事業費						財 源 内 訳				予算書頁	
目 の 予 算 額	24,406					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	28・29	
予 算 額	20,789					2,584	2,584		732	14,889	継 続	
	前年度当初	18,512	前年度最終	18,512								
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 5 節	社会保障の充実			

1 目的

老人保健法による住民基本健診に代わり、平成20年度から高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健診及び特定保健指導が開始された。また、特定健診で得られたデータを用い、特定保健指導対象者の選定と階層化を行い、メタボリックシンドローム等生活習慣病の予防を目指す。

2 事業内容

- ◎対象者：40歳以上74歳以下(75歳以上は後期高齢者となり、医療機関での個別健診となる。)
- ◎集団健診個人負担：生活保護家庭を除き一律1,000円、武雄杵島地区医師会へ徴収委託を行う。(健診委託料と相殺)
- ◎個別健診個人負担：生活保護家庭を除き一律1,500円、健診機関にて徴収する。(健診委託料と相殺)
- ◎特定健診の実施時期 集団検診は、7月9日～30日(16日間)、個別健診は、4月1日～3月31日
- 集団健診については、各種ガン健診(健康づくり係)同時実施するものを第1期とし、第1期の状況により、第2期以降を特定健診(保険係)のみの単独で行う。
- 対象者については、国保被保険者のみであるが、社会保険等被用者保険の町民についても受け入れを行う。

3 予算額

区 分	事業費	説 明	
賃 金	513	特定健診等日々雇用職員賃金	512,800円
需用費	540	消耗品費 受診券、特定健診調査票、封筒他	539,755円
役務費	1,469	通信運搬費 特定健診受診券、調査票、結果等郵送料	1,469,000円
委託料	18,187	特定健診委託料 集団健診委託料(5,561円-1,000円)×3,300人= 個別健診委託料(7,051円-1,500円)×300人= その他健診、健診データ作成管理業務委託料	15,051,300円 1,665,300円 1,470,150円
使用料及び賃借料	80	健診会場、空調設備使用料	80,000円
計	20,789		

区分	平成24年度 当初			会計	国民健康保険特別会計		単位:千円				
款	8	項	2	目	1	細事業名	30歳代健康診査事業			所属	住民課
目 名 称	特定健康診査等事業費										
目の 予 算 額	24,406					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	832					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	28・29
										832	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 5 節	社会保障の充実			

1 目的

高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健診の実施対象者については、40歳以上74歳以下と定められているが、40歳未満、特に30歳代の健康診査を実施することによって、若い世代の被保険者にも自らの健康に関心を持っていただき、早期のメタボリックシンドロームを予防することを目的とする。

2 事業内容

◎対象者：30歳以上39歳以下(約120人を受診予定)

◎個人負担：生活保護家庭を除き、一律 1,000円

◎30歳代健診の実施については、7月9日～30日(16日間)に行われる集団健診と同時に実施する。

○基本的に集団健診のみの実施であり、個別健診は予定していない。

3 予算額

区 分	事業費	説 明	
需用費	30	消耗品費 受診券、健診調査票、封筒他	29,717円
役務費	90	通信運搬費 受診券、健診調査票、健診結果等郵送料	90,000円
委託料	712	30歳代健診委託料	
		集団健診委託料(5,561円-1,000円)×120人=	547,320円
		データ作成費等	13,120円
計	20,789	肝炎ウイルス検査委託料	150,180円

4 事業の効果

若い世代の被保険者にも自らの健康に関心を持たせ、早期のメタボリックシンドロームを予防することができる。

区分	平成24年度 当初		会計	後期高齢者医療特別会計		単位:千円																																			
款	2	項	1	目	1	細事業名	後期高齢者医療広域連合納付金	所属	住民課																																
目 名 称	後期高齢者医療広域連合納付金																																								
目の予算額	305,080					財 源 内 訳				予算書頁																															
予 算 額	305,080					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	11																														
	前年度当初	289,596	前年度最終	286,124					305,080		継 続																														
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 5 節	社会保障の充実																																	
1 目的	後期高齢者医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律により、国民の共同連帯の理念に基づき高齢者の適切な医療の給付等を行い、国民保険の向上及び高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。後期高齢者医療制度の被保険者は、75歳以上と65歳以上の障害認定を受けている者で、医療の給付等に関しても老人保健法に基づく医療と同様の診療が受けられる。																																								
2 事業内容	町は、後期高齢者医療制度の事務を処理する特別会計の設置、広域連合の経費負担、保険基盤安定制度の負担、保険料の徴収と広域連合への納付。被保険者の資格・給付等に関する申請・届出の受付など処理している。																																								
3 予算額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>金 額</th> <th>説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">保 険 料</td> <td rowspan="4">182,982</td> <td>保険料は、均等割額 49,500円、所得割 9.6% 白石町分賦課総額 284,112千円ー保険基盤安定負担対象額 100,556千円=183,556千円 (実賦課見込額)</td> </tr> <tr> <td>特別徴収分 146,844 実賦課額の約8割:実賦課額183,556千円×0.80×徴収率100%</td> </tr> <tr> <td>普通徴収分 35,976 実賦課額の約2割:実賦課額183,556千円×0.20×徴収率98%</td> </tr> <tr> <td>計 182,820</td> </tr> <tr> <td></td> <td>過年度分 162</td> <td>滞納額729,000×徴収率22%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">保険基盤安定負担金</td> <td rowspan="2">100,556</td> <td>町負担(1/4) 25,139</td> </tr> <tr> <td>県負担(3/4) 75,417</td> </tr> <tr> <td colspan="3">○県負担分は、一般会計で収入後、町負担分と合わせて特別会計へ繰り出し、広域連合へ納付</td> </tr> <tr> <td>広域連合共通経費 (一般会計分)</td> <td>7,022</td> <td>広域連合運営経費(職員人件費、議会費他) 均等割(10%)975千円+人口割(45%)2,664千円+高齢者人口割(45%)3,383千円。 (県広域連合計 195,036千円の約3.60%) 7,022千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">広域連合共通経費 (特別会計分)</td> <td>12,896</td> <td>保険財政運営経費(レセプト点検、保管、健診費用他) 均等割(10%) 1,791千円+人口割(45%)4,892千円+高齢者人口割(45%) 6,213千円。 (県広域連合計 358,175千円の約3.60%) 12,896千円</td> </tr> <tr> <td>1,624</td> <td>被保険者証郵送代実費負担金 1,623,800円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>305,080</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											項 目	金 額	説 明	保 険 料	182,982	保険料は、均等割額 49,500円、所得割 9.6% 白石町分賦課総額 284,112千円ー保険基盤安定負担対象額 100,556千円=183,556千円 (実賦課見込額)	特別徴収分 146,844 実賦課額の約8割:実賦課額183,556千円×0.80×徴収率100%	普通徴収分 35,976 実賦課額の約2割:実賦課額183,556千円×0.20×徴収率98%	計 182,820		過年度分 162	滞納額729,000×徴収率22%	保険基盤安定負担金	100,556	町負担(1/4) 25,139	県負担(3/4) 75,417	○県負担分は、一般会計で収入後、町負担分と合わせて特別会計へ繰り出し、広域連合へ納付			広域連合共通経費 (一般会計分)	7,022	広域連合運営経費(職員人件費、議会費他) 均等割(10%)975千円+人口割(45%)2,664千円+高齢者人口割(45%)3,383千円。 (県広域連合計 195,036千円の約3.60%) 7,022千円	広域連合共通経費 (特別会計分)	12,896	保険財政運営経費(レセプト点検、保管、健診費用他) 均等割(10%) 1,791千円+人口割(45%)4,892千円+高齢者人口割(45%) 6,213千円。 (県広域連合計 358,175千円の約3.60%) 12,896千円	1,624	被保険者証郵送代実費負担金 1,623,800円	計	305,080	
項 目	金 額	説 明																																							
保 険 料	182,982	保険料は、均等割額 49,500円、所得割 9.6% 白石町分賦課総額 284,112千円ー保険基盤安定負担対象額 100,556千円=183,556千円 (実賦課見込額)																																							
		特別徴収分 146,844 実賦課額の約8割:実賦課額183,556千円×0.80×徴収率100%																																							
		普通徴収分 35,976 実賦課額の約2割:実賦課額183,556千円×0.20×徴収率98%																																							
		計 182,820																																							
	過年度分 162	滞納額729,000×徴収率22%																																							
保険基盤安定負担金	100,556	町負担(1/4) 25,139																																							
		県負担(3/4) 75,417																																							
○県負担分は、一般会計で収入後、町負担分と合わせて特別会計へ繰り出し、広域連合へ納付																																									
広域連合共通経費 (一般会計分)	7,022	広域連合運営経費(職員人件費、議会費他) 均等割(10%)975千円+人口割(45%)2,664千円+高齢者人口割(45%)3,383千円。 (県広域連合計 195,036千円の約3.60%) 7,022千円																																							
広域連合共通経費 (特別会計分)	12,896	保険財政運営経費(レセプト点検、保管、健診費用他) 均等割(10%) 1,791千円+人口割(45%)4,892千円+高齢者人口割(45%) 6,213千円。 (県広域連合計 358,175千円の約3.60%) 12,896千円																																							
	1,624	被保険者証郵送代実費負担金 1,623,800円																																							
計	305,080																																								
4 事業の効果	医療制度の円滑な運営に寄与する。																																								

区分	平成24年度 当初		会計	農業集落排水特別会計		単位:千円																																									
款	3	項	1	目	1	細事業名	農業集落排水統合補助事業			所属	下水道課																																				
目 名 称	農業集落排水事業費																																														
目の予算額	297,994					財 源 内 訳					予算書頁																																				
予 算 額	278,628					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	17・18・19																																				
	前年度当初	74,707	前年度最終	64,726		90,000		187,400	1,228		継 続																																				
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節		生活基盤の充実																																					
1 目的	農村地域に適した排水処理施設を整備することで、より快適で豊かな農村、潤いのある水環境を守り安全な食料の提供と公共用水域の水質保全及び生産性の高い農業の実現や活力ある農村社会の形成と循環社会の構築を図る。																																														
2 事業内容	○計画戸数・・・414戸 ○計画人口・・・1,650人 ○面積・・・95.2ha ○事業期間・・・H19～H24 ○総事業費・・・2,240,000千円 ○本年度の主な事業																																														
3 予算額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>項 目</th> <th>事業費</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>管路実施設計等</td> <td>9,000 千円</td> <td>管路実施設計・処理場機能調整</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">工事請負費</td> <td>管路工事</td> <td>97,000 千円</td> <td>内堤地区</td> </tr> <tr> <td>舗装復旧工事</td> <td>131,000 千円</td> <td>馬洗・三町・内堤・湯崎・久治地区</td> </tr> <tr> <td>太陽光施設</td> <td>30,000 千円</td> <td>処理場</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>積算システムリース</td> <td>720 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償補填及び賠償金</td> <td>水道管移設等</td> <td>3,000 千円</td> <td>管路工事</td> </tr> </tbody> </table>											区 分	項 目	事業費	摘 要	委託料	管路実施設計等	9,000 千円	管路実施設計・処理場機能調整	工事請負費	管路工事	97,000 千円	内堤地区	舗装復旧工事	131,000 千円	馬洗・三町・内堤・湯崎・久治地区	太陽光施設	30,000 千円	処理場	使用料及び賃借料	積算システムリース	720 千円		補償補填及び賠償金	水道管移設等	3,000 千円	管路工事										
	区 分	項 目	事業費	摘 要																																											
委託料	管路実施設計等	9,000 千円	管路実施設計・処理場機能調整																																												
工事請負費	管路工事	97,000 千円	内堤地区																																												
	舗装復旧工事	131,000 千円	馬洗・三町・内堤・湯崎・久治地区																																												
	太陽光施設	30,000 千円	処理場																																												
使用料及び賃借料	積算システムリース	720 千円																																													
補償補填及び賠償金	水道管移設等	3,000 千円	管路工事																																												
	(単位:千円)																																														
3 予算額	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">事業費</th> <th rowspan="2">事務費</th> <th rowspan="2">計</th> <th colspan="4">左の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>交付金</th> <th>起債額</th> <th>繰入金</th> <th>分担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫補助対象</td> <td>177,000</td> <td></td> <td>177,000</td> <td>90,000</td> <td>87,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>単独事業</td> <td>93,000</td> <td>8,628</td> <td>101,628</td> <td></td> <td>100,400</td> <td>1,228</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>270,000</td> <td>8,628</td> <td>278,628</td> <td>90,000</td> <td>187,400</td> <td>1,228</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											区分	事業費	事務費	計	左の財源内訳				交付金	起債額	繰入金	分担金	国庫補助対象	177,000		177,000	90,000	87,000			単独事業	93,000	8,628	101,628		100,400	1,228		計	270,000	8,628	278,628	90,000	187,400	1,228	
	区分	事業費	事務費	計	左の財源内訳																																										
交付金					起債額	繰入金	分担金																																								
国庫補助対象	177,000		177,000	90,000	87,000																																										
単独事業	93,000	8,628	101,628		100,400	1,228																																									
計	270,000	8,628	278,628	90,000	187,400	1,228																																									
	※起債借入10万円単位 ※起債借入残を含む																																														
4 事業の効果	農村地域に適した排水処理施設を整備することで、より快適で豊かな農村、潤いのある水環境を守り安全な食料の提供と公共用水域の水質保全及び生産性の高い農業の実現や活力ある農村社会の形成と循環社会の構築を図ることができる。																																														

区分	平成24年度 当初			会計	特定環境保全公共下水道特別会計			単位:千円			
款	1	項	1	目	1	細事業名	特定環境保全公共下水道施設整備費		所属	下水道課	
目 名 称	公共下水道施設整備費										
目の予算額	1,629,145					財 源 内 訳			予算書頁		
予 算 額	1,629,145					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	12・13
	前年度当初	921,542	前年度最終	934,509		741,000		882,900	5,245		継 続

白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		
-------------------------------	--	---------------	------------------------	--	--	---------------	---------	--	--

1 目的 公共用水路の水質汚濁については各家庭等から排出される生活排水が大きな原因の一つになっているため、下水道の整備を行うことにより生活環境の改善と公共用水域の水質保全及び公衆衛生の向上に寄与する。

2 事業内容 第1期事業認可区域
 ○事業予定期間・・・H20～H26(7年間) ○総事業費・・・5,275,000千円 ○面積・・・89ha ○計画処理人口・・・3,900人 ○排除方式 分流式

○本年度の主な事業 (単位:千円)

節	工種等	補助	単独	計
委託費	(管路実施設計)	75,000	13,000	88,000
委託費《JS委託協定》	(処理場建設)	434,400	3,000	437,400
委託費 "	(水処理設備工事)	175,000	0	175,000
委託費 "	(電気設備工事)	93,000	0	93,000
使用料及び賃借料	(公用車リース等)	0	1,722	1,722
工事請負費	(管路幹線・枝線布設工事)	739,000	65,000	804,000
補償補填及び賠償金	(水道管移設等)	5,000	5,000	10,000

3 予算額 (単位:千円)

区 分	事業費	事務費	計	左の財源内訳			
				交付金	起債	繰入金	負担金
国庫補助事業	1,521,400	0	1,521,400	741,000	780,400		0
単独事業	86,000	21,745	107,745		102,500	5,245	0
計	1,607,400	21,745	1,629,145	741,000	882,900	5,245	0

4 事業の効果 潤いのある水環境を守ることにより、安全かつ安心な食料の提供と生活環境の改善及び公共用水域の水質保全が図られ、より快適で豊かなまちづくりに貢献できる。

単位:千円

区分	平成24年度 当初		会計	水道事業会計									
款	80資本的支出	項	01建設改良費	目	801設備工事費	細事業名	水道管管網整備事業					所属	水道課
目	801設備工事費												
目の予算額	108,000					財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額	100,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	31		
	前年度当初	125,800	前年度最終	108,220						100,000	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実				
1 目的													
① 道路改良工事及び下水道工事の進捗に合わせた配水管布設替等工事をおこない管網の整備充実を図る。													
② 長期使用の老朽管を更新することにより、漏水・赤水等の防止をおこない、安定した水の供給と有収率の向上を図る													
2 事業内容													
【設備工事費】						【主な管種／表示記号】							
1	国道207号道路拡幅改良工事に伴う配水管布設工事	φ100、φ75	HIVP-RR、DCIP-K	L=1070m	1. DCIP-NS	水道用ダクタイル鋳鉄管(NS形)							
2	町道神辺線配水管布設替工事	φ75、φ50	HIVP-RR	L=350m	2. DCIP-NS	水道用ダクタイル鋳鉄管(GX形)							
3	町道東郷廿治線配水管布設工事	φ100	DCIP-NS、HIVP-RR	L=360m	3. DCIP-K	水道用ダクタイル鋳鉄管(K形)							
4	町道秀村線道路改良工事に伴う配水管布設替工事	φ75、φ50	DCIP-GX、HPPE	L=300m	4. HPPE	水道配水用ホリエチレン管							
5	町道深通福吉線配水管布設替工事	φ75	HIVP-RR	L=280m	5. HIVP-RR	水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管							
6	町道太原外瀬線道路改良工事に伴う配水管布設替工事	φ50	HIVP-RR	L=600m									
7	町道新村線道路改良工事に伴う配水管布設替工事	φ75、φ50	HIVP-RR	L=200m									
8	農道新拓43号線漁港整備工事に伴う配水管布設替工事	φ50	HIVP-RR	L=100m									
9	町道上船野線配水管布設替工事	φ75、φ50	HIVP-RR	L=500m									
10	町道福吉東西4号線・福吉4号線配水管布設替工事	φ50	HIVP-RR	L=350m									
11	町道大井久治線配水管布設替工事	φ75	HIVP-RR	L=550m									
12	町道福吉5号線配水管布設替工事	φ50	HIVP-RR	L=150m									
13	町道廿治南線配水管布設替工事	φ50	HIVP-RR	L=100m									
14	農道有明第一15号線・111号線配水管布設替工事	φ50	HIVP-RR	L=100m									
15	町道福吉2号線配水管布設替工事	φ75	DCIP-K	L=40m									
				合計	L=5050m								
(注)事業個所、延長については現時点での予定工事量であり、国県道、町道改良工事等の進捗により、変更を伴う。													
3	予算額	100,000千円											
4 事業の効果													
道路改良工事等と同時施工することにより、工事コストの省力化を図りながら、老朽管更新等の進捗率を高め、併せて漏水防止等の解消を行い、安全で安定した水の供給を行う。													